

令和3年度社会福祉法人朝日町社会福祉協議会事業計画

I 基本方針

新型コロナウイルス感染症の発生により、地域福祉活動やイベントが軒並み中止となった前年度を振り返り、真に必要な施策に重点を置き、コロナ禍でも実施すべき令和3年度事業を計画いたします。

朝日町の人口は年々減少しており、過疎化が進んでいます。少子高齢化に歯止めはかからず、高齢者世帯や単身世帯、未婚の増加などにより、地域社会や家庭の様相は時代とともに変容しています。福祉に関わる課題も複雑多様なものになっており、一人暮らし高齢者、老老介護、生活困窮、8050問題、ひきこもり、児童虐待、高齢者や子育て世代の孤立、消費者被害等々、課題として顕在します。

朝日町社会福祉協議会は、このようなあらゆる生活課題への支援体制の強化に取り組んでまいります。

地域の支えあいの仕組みづくりを強化する「ふくし教育推進員養成確保事業」や「ケアネット活動」をはじめとした、ボランティア精神の普及啓発とともに、地域での活躍人材の発掘や地区社会福祉協議会活動の支援に注力してまいります。行政、地区社協、町内会、福祉関係団体等との連携もさらに深め、福祉のネットワークづくりに努めます。

また、社会福祉協議会の存在意義を住民に周知するために、ケーブルテレビやSNS等の活用のほか、出張相談所の開設や出前講座の充実を図ります。

財政再建の計画としましては、コロナ禍において停滞してしまった賛助会費収入や寄付金収入の増額を図るため、広報活動の強化と朝日町内企業等への訪問活動により、社会貢献への協力を依頼してまいります。収益事業については、令和2年度に協議した事業について、さらに調査研究を進め、事業開始につなげたいと考えています。住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるように、地域の人たちと一緒に支え合い活動を進め、地域包括ケアシステムの生活支援の中心的担い手としての役割を果たす所存です。

新型コロナの発生により「新しい生活様式」となり、人との接触を伴う交流を減らす方向へと流れていますが、この災禍の中でも大切な「支え合い」や「つながり」を堅持していかなければならない重要な時期になっています。昨年度公募にて決定したキャッチコピー「寄り添う心・つながる手」をモットーに、朝日町社会福祉協議会は「誰もが主役」の地域共生社会の構築を目指し、一人一人の幸せのために活動してまいります。

II 令和3年度重点事業

『オール朝日町で支える 安心生活のまちづくり』の実現へ向けて

- 1 地区社会福祉協議会との連携、協働強化
 - ・地域福祉懇談会の定期開催（地区社協の基本理念・基本目標）
- 2 生活支援体制整備事業
 - ・介護予防、ケアネット活動、ボランティアの発掘
- 3 広報啓発活動
 - ・ケーブルテレビ、SNS の活用

III 事業計画

- 1 社協活動の周知と充実
 - (1) 広報啓発事業
 - ①広報あさひ「ふくしの窓」の掲載
 - ②ケーブルテレビ等の活用による福祉・ボランティア活動の広報啓発
 - ③ホームページの充実
 - ④SNS（フェイスブック）等を活用した活動のPR
 - (2) 朝日町社会福祉大会（第3回朝日ふくしフェスティバル）の開催
 - (3) 役職員の研修
 - (4) 福祉募金活動の推進
 - ①社会福祉協議会会費・賛助会費
 - ②赤い羽根共同募金
 - ③日本赤十字社会費
- 2 地域福祉事業の推進
 - (1) 地域福祉活動事業
 - ①地区社会福祉協議会との協働による福祉活動の充実
 - ②積極的な出前福祉講座の開催
 - ③小地域福祉活動の推進（ケアネット活動）
 - ④生活支援体制整備事業の推進（拡充）
 - (2) 高齢者福祉事業
 - ①一人暮らし高齢者及び高齢者世帯への支援（訪問活動等）
 - ②冬期入浴送迎サービスの実施
 - ③ひとり歩き高齢者SOSネットワークへの協力
 - (3) 障害者福祉事業
 - ①障害者福祉団体への活動支援・助成
 - ②障害者との交流事業の開催
 - ③外出支援サービス事業の実施（介護自動車の貸出し・送迎等）
 - (4) 子育て支援事業
 - ①ママ&ベビーヨガサークルへの支援

- (5) 一般介護予防事業
 - ①ふれあい・いきいきサロンの推進
 - ②外出支援サービス事業の充実（福祉機器・介護自動車の貸出し）
 - ③介護予防啓発事業（ケーブルテレビ放映）
- 3 福祉総合相談・生活支援事業
 - (1) 福祉総合相談事業
 - (2) 生活困窮者自立支援相談事業
 - ①ひきこもり家族座談会の開催
 - ②8050世帯や7040世帯の調査
 - (3) 生活福祉資金貸付事業
 - (4) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用支援）
 - (5) 消費生活相談事業
- 4 ボランティア活動の推進
 - (1) ボランティア情報紙「ハートフル通信」の発行
 - (2) 「朝日町ボランティアフェスティバル」（第3回朝日ふくしフェスティバル）の開催
 - (3) ボランティア養成講座の開催
 - (4) ボランティアグループへの活動支援・助成
 - (5) ボランティア保険の助成
 - (6) ボランティアの登録、斡旋、相談事業の推進
 - (7) ボランティア活動推進校（小・中・高）への活動支援
 - (8) 災害救援ボランティアセンターの体制整備
 - (9) ボランティアセンター運営委員会の充実
 - (10) 福祉教育の推進（ふくし教育推進員養成確保事業）
- 5 福祉団体への支援
 - (1) 活動支援・活動費の助成
- 6 奨学資金の給与
- 7 朝日町民生委員児童委員協議会（事務局）
- 8 朝日町善意銀行（事務局）
- 9 朝日町共同募金委員会（事務局）
- 10 日本赤十字社富山県支部朝日町分区（事務局）
- 11 朝日町いきいき連合会（事務局）